

大東西小だより あい

学校目標 明るく 元気に 美しく

川越市立大東西小学校通信
臨時号 児童数：670名
令和2年 3月10日（火）
校長 日出 間 毅

ピンチをチャンスに！〈残された時間を大切にしよう〉

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスへの対応では、ご家庭で苦慮されていることと思います。3月2日（月）から春休みまで突然の臨時休校措置になり、子どもたちも学校の先生方も保護者の方々も今までの生活を変えなければならなくなりました。学校が休校になり1週間が経過しましたが、子どもたちの体調や生活の様子いかがでしょうか。2月28日（金）に取るものもとりあえず用意した「課題プリント」や「健康観察シート」、「ラインズeライブラリーアドバンスの登録シート」など活用できているでしょうか。

学校の先生方もこの1週間で「卒業式や修了式はどうなる」「学童保育室と学校の連携をどうする」「あゆみや児童の荷物はいつどうやって受け渡すか」「未履修となっている勉強はどうするか」など教育委員会の指示や近隣の小中学校と連携しながら対応に追われています。

しかし、このピンチをみんなで知恵を絞りながら乗り越えなければなりません。みんなが少しずつ我慢しあって、安心して学校で平常の活動ができる日を目指さなければなりません。

3月11日は東日本大震災から9年になります。被災地となった学校では、実被害が目の前にある中で、復興に向け子どもも大人もピンチを必死で乗り越えたことと思います。幸い埼玉県では新型コロナウイルスによる死亡事例はまだ出ていません。（3月6日現在、感染者：6名）今後まだ感染拡大が予想される中、一人ひとりが感染拡大を予防するために、がんばりましょう。

今は、子どもたちもこの生活に飽きてきている時期かと思います。児童によっては、毎日家の中で一人で生活しているわけですから、テレビだって、ゲームだって、勉強だって楽しくなくなってきました。先生方もみんながどうしているかとても心配しています。早くみんなに会って、ハイタッチができる日を待ち望んでいます。しかし春休みまでには、まだ2週間以上あります。残された時間をどのように過ごすか。是非ご家庭で話し合いをしてください。子どもたちとこの窮地をきっかけにじっくり話をするチャンスにしてください。子どもたちの将来の夢でも、保護者の方のお仕事のことでも、人間関係の築き方でも、保護者の方の小学校時代の話でも…。人間の生き方について話をする機会を持っていればと思います。子どもたちは大人の生き方を見て、聞いて自分の生き方を決めていきます。子どもたちの自主性を育てるいいチャンスになることを願っています。

学校もこのピンチをチャンスに変えるために、メールや大東西小学校のホームページで情報を発信してまいりますので是非ご覧ください。また、メール加入やホームページ閲覧ができないご家庭もありますので、家庭訪問や学童保育入室児童を通して、臨時休業中及び春休みの課題等を配布してまいります。その中には、適度に身体を動かすメニューややり残した学習プリント等も入っています。取り組む内容は、今までの学習の復習がほとんどです。授業が止まっている間にできなかったところをおさらいするチャンスです。また、新学期に迎えるにあたり予習をしておくチャンスにもなります。

最後に、6年生にとっては大東西小学校を巣立つ卒業式がいつものように迎えられず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。卒業生と教職員のみ卒業式になりますが、思い出深い卒業式になるよう準備したいと思います。保護者の皆さんには、大変ご心配をおかけしますが、午前11時ごろ卒業生が校舎を出てまいりますので、時間の許す方は是非お迎えに来ていただければと思います。6年担任の先生方も保護者の皆様にご挨拶できる最後のチャンスとっております。